

『スポーツウエルネス学学位プログラム』が目指すもの

2020年度より、筑波大学の教育体制が大きく変更され、大学院は学位プログラム化され、スポーツウエルネス学学位プログラムがスタートしました。本学位プログラムは、延期されましたが2020東京オリンピック・パラリンピック後の我が国のスポーツとウエルネス（健康）領域の課題解決型の高度人材の育成を目的としています。

また、学生の皆様のニーズに応えられるように、前期課程（修士）と後期課程（博士）の2課程を用意しています。これらの課程の教育・研究を通じて、是非皆さんとも連携しながら2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの確立に本学位プログラムの研究活動が貢献したいと強く願っています。

レガシーとして重要なのは、①子どもから高齢者までの国民がスポーツを通じて如何に生活（人生）を充実させられるか、②スポーツにより経済的な側面も含めて地域の活性化にどれくらい貢献できるか、③今後2040年まで我が国の超高齢化による健康問題から生じる様々な社会課題（医療・介護・社会保障など）を克服するための社会技術を開発できるか、④少子化対策としてのスポーツの役割を顕在化させる、等があげられます。

スポーツウエルネスは、スポーツとウエルネス（健康）が融合した学問分野であり、それぞれの教員は教育、研究、そして社会貢献のいずれにおいても我が国でトップレベルの業績を持っています。それゆえ、我が国でもレガシーの確立に最も貢献できる体制の一つと言えます。

このように、今日、健康の価値はますます重要視され、それに対するスポーツの有意性が科学的に大きく認められています。さらに、これらの政策効果やそれらを支えるサービスとしてのビジネスを高めるための人材育成（リカレント）は、社会において大変重要となっています。

そして、本学位プログラムでは、それぞれの領域で生じ、これまで中々解決されていない困難な課題を解決できる実務的な力を向上させると同時に、各種経営資源の調達から、その維持・管理・運営、そして新たなビジョンの開発といったプロモーションやマネジメントを適切に行える力を高めます（イノベーション力、課題解決力）。

これらの課程を通じて本学位プログラムを修了する段階で皆さんは、少子超高齢社会や人口減社会から生じる様々な社会課題を解決し、それらのプロセスにおけるノウハウ及び成果をグローバルに展開できる力が向上し、社会改革に貢献できる人材になっていることでしょう。

是非、筑波大学院の門を叩いた初心を忘れず、本日から研究に励んでください。

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程・後期課程

筑波大学が提供する社会人向け3つの大学院教育プログラム

筑波大でのリカレントは、「知識」だけでなく「研究能力」の養成による課題解決力の獲得 ⇒ 「イノベーターの輩出を目指すことによる筑波大らしさの担保」

タイプ A

タイプ B

タイプ C

領域横断型 ビジネスプロフェッショナル

- ・社会・組織の問題解決に自立的かつ広範に応用できる研究能力の養成
- ・「研究能力の高さ」が競合との差別的優位性

東京地区社会人大学院修士・博士課程

領域特化型 ビジネスエキスパート

- ・特定領域の高度な知識と卓越した「課題解決力」の養成
- ・「専門的な研究能力」
＋「現場力」＋「マネジメント力」の養成
- ・「専門学位」の授与

東京地区社会人大学院修士・博士課程

ビジネス・社会志向型 アカデミア

- ・アカデミアに匹敵する高度な知識と研究能力の養成
- ・産官の研究者、専門職大学院等の実務家教員養成

つくば地区大学院, 東京地区社会人大学院博士課程

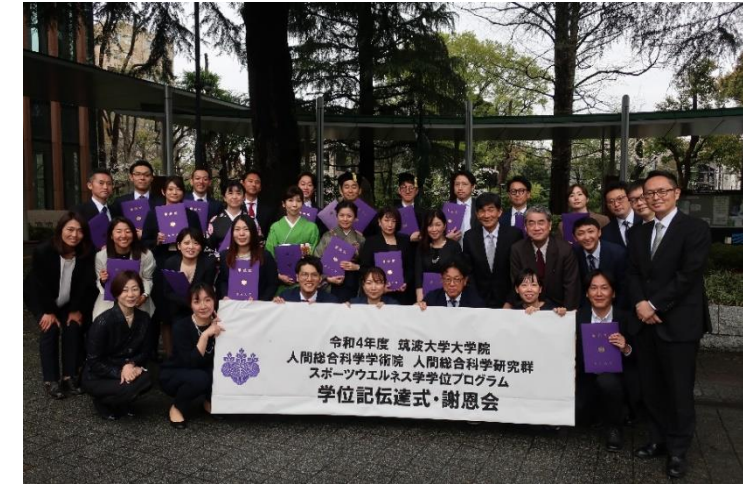
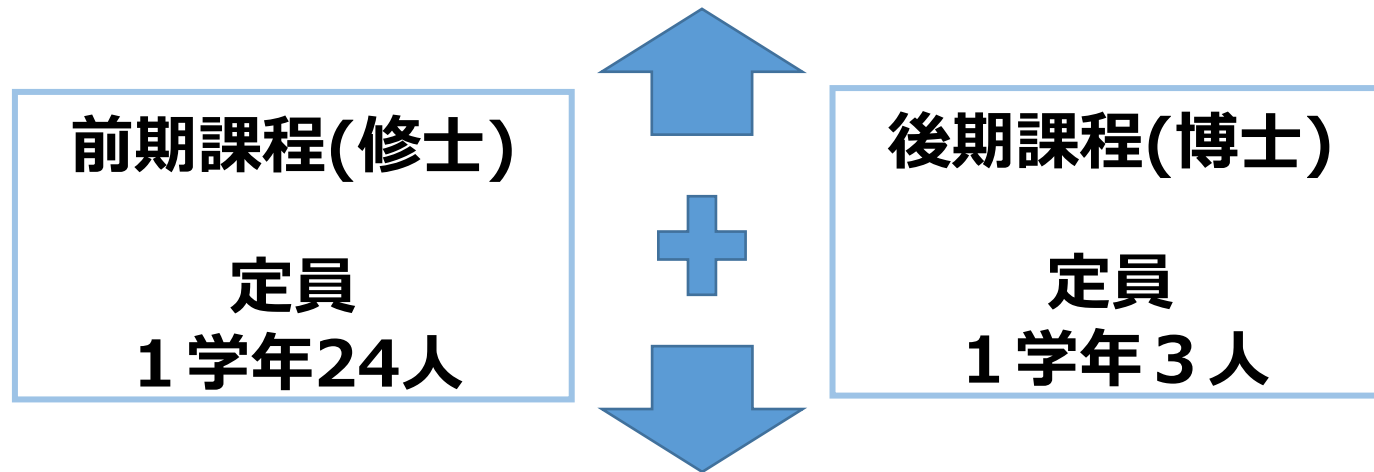
筑波大学の社会人教育とは

アカデミック界、社会、ビジネス界の推進・深耕に必要な高度な研究能力を修得(修士)、さらにそれを自立して応用・駆使できる(博士)人材の輩出

スポーツウエルネス学学位プログラムのこれまでの実績と今後の連携大学院による発展

高度職業人として修了生が活躍！

修士446人（2003年開始） 博士10人（2016開始）



SWP

教授	4人
准教授	2人
助教	2人
特任助教	1人
計	9人

連携大学院



JSC

和久教授
(JISS副センター長)
清水准教授
(JISS先任研究員)

スポーツウエルネス学学位プログラムの特徴

- 専門博士(研究博士、専門職博士ではなく)として博士(スポーツウエルネス学)の取得
- 研究博士のコースと異なり、学術論文誌の筆頭論文があることを条件としない
- PBL:Project-Based Learningとして課題解決型プロジェクトワークを重視
- グローバルでのマネジメント力向上のために1回以上の国際学会等での発表を修了要件に位置付ける
- 指導教員＋副指導教員(学外1名と学内1名)3名による複数指導体制

副指導教員の役割

- スポーツウエルネス研究演習 I (D1)、II (D2)、III (D3)での指導
⇒年3回
- 研究報告会での指導⇒年1回(D1～D2)
- D3(最終年)での予備審査会、本審査会⇒通常はそれぞれ1回
- 課題解決型プロジェクトワークの審査(テーマ審査、プロジェクト後審査)
⇒D3夏までにそれぞれ1回

SWP博士後期
修了生 課題解決型PW・論文題目一覧

期	氏名	課題解決型PW題目	論文題目
1	塚尾 晶子	コミュニティ単位で健康づくり無関心層にも届く情報伝達システム構築プロジェクトー健幸アンバサダー制度設計ー	健康づくり無関心層に効果的に健康情報を届けるインフルエンサー養成システムの開発
	和久 貴洋	JAPAN SPORT NETWORK 共催事業における地域スポーツ政策イノベーション創出モデルの開発ー睡眠とスポーツを組み合わせたスポーツ参加促進プロジェクトを事例としてー	自治体におけるスポーツ政策イノベーションの促進要因に関する研究
2	浅川 伸	2020年に向けたドーピング検査員(DCO)の育成・研修対応における模擬研修会の実効性の向上	大規模国際競技大会におけるドーピング検査員育成の課題とそのあり方に関する研究
	塚本 拓也	アクション・リサーチによる日本で実施する国際的なスポーツ経営人材を育成する教育プログラム構築の実践ー「MESGO東京セッション」を事例としてー	日本における国際的スポーツ経営人材育成の可能性に関する研究ーMESGO東京セッションを事例としてー
3	鬼村 優一	自治体・医師会・民間事業者が共同で取り組むスポーツ療法プロジェクト	自治体における医療連携を基盤とした健康スポーツ療法の普及
	小坂 真	ジュニアアスリートの走能力向上を促進するエクササイズプログラムの開発ーフィジカルリテラシー習得の観点からー	ジュニアアスリートの疾走能力向上を促進するエクササイズプログラムの開発ーフィジカルリテラシーの観点からー
4	木原 慎介	生徒の運動実践や相互作用を促進するオンライン体育(OLPE)のプロトタイプ開発ー現職体育教師との協働的アクション・リサーチを通してー	アフターコロナを見据えた体育授業におけるICT活用の意義とその促進に関する研究
5	田丸 尚稔	外部専門家参加によるスポーツ強豪校運動部員の主体性育成プロジェクト:関東地方私立A高等学校のサッカー部・野球部・駅伝部の事例分析ー	複数の外部専門家が参画する運動部活動の指導体制構築に関する研究:競技志向の高い私立A高校を事例として
	若松 朋由	中小企業向けヘルスリテラシー向上プログラムの導入プロジェクトー健康産業企業主導のコンソーシアムによる取組みー	健康経営推進に課題が見られる中小企業社員へ健康情報を届けるモデルの開発

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士後期課程)

科目区分	条件	科目名等	修得単位数
基礎科目	必修	課題解決型データ分析特講1	1
		課題解決型データ分析特講2	1
専門科目	必修	スポーツウエルネス研究演習Ⅰ	1
		スポーツウエルネス研究演習Ⅱ	1
		スポーツウエルネス研究演習Ⅲ	1
	必修	課題解決型プロジェクトワークⅠ	1
		課題解決型プロジェクトワークⅡ	2
修了単位数			8

(修了要件)

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年(修士課程早期修了者等にあつては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

(注)教育上有益と認められる場合には、本学位プログラムの定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認める。

履修方法の詳細

1. 修了に必要な単位は、以下のとおりである。

(1) 基礎科目（必修）

- ・ 課題解決型データ分析論特講 1
- ・ 課題解決型データ分析論特講 2 以上 2 科目（2 単位）

(2) 専門科目（必修）

- ・ スポーツウエルネス研究演習 I
- ・ スポーツウエルネス研究演習 II
- ・ スポーツウエルネス研究演習 III
- ・ 課題解決型プロジェクトワーク I
- ・ 課題解決型プロジェクトワーク II 以上 5 科目（6 単位）

2. 修了要件は、原則として、

- ・ 指定された必修科目の 8 単位以上の取得
 - ・ 博士論文の審査及び最終試験に合格すること
- ※ 研究論文誌で筆頭論文 1 編以上を持つことが望ましい

本学位プログラムに 3 年以上在学し、上記の修了要件を全て満たした者には、「博士（スポーツウエルネス学）」の学位が授与される。

令和5年度開設科目一覧

スポーツウエルネス学学位プログラム(博士後期課程)

基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTS011	課題解決型データ分析論特講1	1	1.0	1	春BC	応談		岡田 幸彦	受講生が、自身の研究課題、問題意識、保有データに対して、社会科学の立場から適切な実証研究計画を立てられるようになることを目標に、社会科学のデータ分析手法や研究デザインを学ぶ。特に、受講生の研究課題、問題意識、保有データに対して適切な分析手法について、深い理解を得られるように、対話形式で授業を進める。社会科学の実証分析手法は多様である。これらを適切に使いこなせるように、授業では典型的な実証研究論文を取り上げる予定である。	開講日：6/24, 7/1 (予定) 受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL001と同一。 対面
OBTS012	課題解決型データ分析論特講2	1	1.0	1	秋AB	応談		岡田 幸彦	世の中には、多様な社会データが存在している。これからの時代に利用可能な各種データに対する最先端の解析技術・方法論を事例紹介するとともに、それらのスポーツウエルネス領域への応用可能性を議論する。なお、授業では、筑波大学サービス工学ビッグデータCoEの成果を取り上げることを中心に進める予定である。	開講日：10/28, 11/4 (予定) 受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL002と同一。 対面





専門科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTS111	スポーツウエルネス研究演習I	2	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 高橋 義雄, 辻 大士, 和久 貴洋, 清水 和弘	博士論文の構成の輪郭を固めると同時に、課題解決型プロジェクトワークの具体化を進める。スポーツウエルネス領域に関する研究及び課題解決型プロジェクトワークについて指導教員を中核としてメンター教員を含めての指導のもとに研究計画を立案し、研究テーマの設定を行う。中間報告会IIに終日参加すること、および、研究テーマおよび研究計画を発表する。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL101と同一。 対面
OBTS112	スポーツウエルネス研究演習II	2	1.0	2	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 高橋 義雄, 辻 大士, 和久 貴洋, 清水 和弘	博士論文の中核となる研究を遂行し、その内容に関する考察力を高める。スポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。中間報告会IIに終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表する。スポーツウエルネス研究演習IIまたはIIIで、国際学会で1回以上の発表を行う(海外での調査研究に代えることができる)。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL102と同一。 対面
OBTS113	スポーツウエルネス研究演習III	2	1.0	3	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 高橋 義雄, 辻 大士, 清水 和弘, 和久 貴洋	博士論文合格できる取りまとめ力を身につけるスポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究成果をまとめる。スポーツウエルネス研究演習IIまたはIIIで、国際学会で口頭発表を1回以上行う。(海外での調査研究に代えることができる)	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL103と同一。 対面
OBTS114	課題解決型プロジェクトワークI	3	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 高橋 義雄, 辻 大士, 安藤 梢, 田邊 解, 和久 貴洋, 清水 和弘, 渡部 厚一	世界や日本におけるスポーツウエルネス領域リーダーとして、社会的問題や課題を解決できる論理的・実践的能力を身に付ける。スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関など実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。この授業では、課題解決型プロジェクトワークを実施する上で、理解すべき重要な研究法であるアクションリサーチ法についての理解を深めるとともに、事前計画(実習テーマ設定、計画書の作成、発表)を行う。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL105と同一 4/12(水)、5/10(水)、7/12(水)の7, 8限に全員での授業を実施、その他はゼミごとの開講になります。 対面
OBTS115	課題解決型プロジェクトワークII	3	2.0	2・3	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 高橋 義雄, 辻 大士, 安藤 梢, 田邊 解, 和久 貴洋, 清水 和弘, 渡部 厚一	世界や日本におけるスポーツウエルネス領域リーダーとして、社会的問題や課題を解決できる論理的・実践的能力を身に付ける。スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関など実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。この授業では、フィールドワーク、事後報告(フィールドワーク報告書の作成、発表)を行う。事後報告では、フィールドワーク実施内容、実施中に生じた問題点などに対する解決策を提示、新たな問題提起、大学院で学習した理論・議論の再構築等に関する考察及び発表を行う。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL106と同一 対面




令和5年度学年暦カレンダー【東京キャンパス標準暦】

大学院関係:東京キャンパス

春学期								秋学期									
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考
4月							1	春季休業4.1-4.10 入学式4.8、新入生オリエンテーション4.8 春学期授業開始4.11	10月	1	2	3	4	5	6	7	開学記念日10.1(開学50周年記念イベント開催予定) 秋学期授業開始10.3
	2	3	4	5	6	7	8			8	9	10	11	12	13	14	
	9	10	11	12	13	14	15			15	16	17	18	19	20	21	
	16	17	18	19	20	21	22			22	23	24	25	26	27	28	
	23	24	25	26	27	28	29			29	30	31					
	30																
5月		1	2	3	4	5	6		11月				1	2	3	4	11.11臨時休業(入学試験実施)
	7	8	9	10	11	12	13			5	6	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	19	20			12	13	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	26	27			19	20	21	22	23	24	25	
	28	29	30	31						26	27	28	29	30			
6月					1	2	3		12月						1	2	冬季休業12.24-1.5
	4	5	6	7	8	9	10			3	4	5	6	7	8	9	
	11	12	13	14	15	16	17			10	11	12	13	14	15	16	
	18	19	20	21	22	23	24			17	18	19	20	21	22	23	
	25	26	27	28	29	30				24	25	26	27	28	29	30	
7月							1	春学期授業終了7.29	1月		1	2	3	4	5	6	
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13	
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29			28	29	30	31				
	30	31															
8月			1	2	3	4	5	春ABCモジュール期末試験7.25, 8.2-8.5 予備日8.1, 8.9-8.10 夏季休業8.11-9.30	2月					1	2	3	秋学期授業終了2.2 秋ABCモジュール期末試験1.30-1.31, 2.3, 2.8-2.9 予備日2.6-2.7 春季休業2.10-3.31
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29			
9月						1	2	開学50周年記念式典9.30	3月						1	2	法科大学院修了日3.15 大学院学位記授与式3.30
	3	4	5	6	7	8	9			3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16			10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23			17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	
授業 日数			15	15	15	15	15		授業 日数			15	15	15	15	15	

- (注)
1. 太字は、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。
 2. 期末試験日は  で示し、試験予備日を  で示す。
 3. 休業日は  で示す。
 4. 入学式・新入生オリエンテーション・学位記授与式は  で示す。
 5. 11月11日(土)は入学試験関係で全日臨時休業とする予定。

※ 各学期は、A,B,Cの3つのモジュールに分かれます。

	Aモジュール
	Bモジュール
	Cモジュール

スポーツウエルネス学学位プログラム博士後期 入試に関する情報

- ①資格審査受付期間：2023/9/5（火） ～ 2023/9/9（土）
- ②Web出願期間：2023/9/19（火）10:00 ～ 2023/9/30（土）17:00
- ③出願書類受付期間：2023/9/19（火） ～ 2023/9/30（土）最終日消印有効
- ④第一段階合否発表：2023/10/20（金）15:00
- ⑤入試日：2023年11月11日（土）
- ⑥募集人員：3名
- ⑦資格審査：

審査が不要な場合	修士の学位を有する者及び2024年3月までに取得する見込の者等
審査が必要な場合	修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められること
- ⑧試験内容：

第一段階	書類審査
第二段階	口述試験：研究計画の発表と研究計画書及び専門知識などに関する口頭試問
	英語試験：TOEIC® Listening & Reading Testの公式認定証の点数
	（詳細は募集要項を確認してください。）
- ⑨留意点：出願書類の研究業績などは、極力、省略をしないで記述してください。
出願にあたり、志願者は必ず希望指導教員と事前に連絡をとってください。
（出願資格審査を要する場合も同様）

※新型コロナウイルス感染問題のため、入試要項が変更になる場合がありますので、ホームページなどで頻繁に確認するようにしてください。

**スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程・博士後期課程）
2024（令和6）年度 入学試験関係日程概要（2023年実施）**

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士前期課程】

試験区分	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
推薦入試	2023/5/27（土）	2023/6/6（火）～2023/6/10（土）	2023/6/13（火）～2023/6/24（土）	/	2023/7/15（土）	2023/8/1（火）
一般入試		2023/6/27（火）～2023/7/1（土）	2023/7/4（火）～2023/7/15（土）		2023/9/2（土）	2023/10/3（火）

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士後期課程】

課程	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
【博士後期課程】	2023/5/27（土）	2023/9/5（火）～2023/9/9（土）	2023/9/19（火）～2023/9/30（土）	/	2023/11/11（土）	2023/12/1（金）

注1：出願には『Web入力システム』を導入しています。

注2：募集要項・出願書類・一般入試の過去問題・『Web入力システム』は、

東京キャンパスWebサイト<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>> の入試情報<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/>> よりご確認ください。

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士前期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_master/

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士後期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/sport-wellness_doctor/

注3：博士後期課程の外国語試験は、TOEIC® Listening & Reading Testの公式認定証の点数（第2段階選抜実施月の2年前以降に公開テストを受験し公式認定証が発行されたもの）を評価します。詳細は、募集要項を確認してください。

参考：スポーツウエルネス学学位プログラムWebサイト <<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>>

社会人大学院等支援室 教務担当

お問い合わせ：businessentrance@un.tsukuba.ac.jp